

しまなみ版M a a Sの実現に向けた実証実験事業 実施概要について

1 事業目的

令和3年度から、しまなみエリアのフェリー・路線バスの時刻や接続状況などの情報集約等や、シェアサイクルの導入に向けた実証実験などを行ってきており、令和4年度は、これらの成果を引き継ぎ、来訪するサイクリング観光客のシームレスな移動など、エリアでの更なる周遊促進や利便性向上につなげるため、公共交通機関とシェアサイクルを組み合わせた経路・接続情報をアプリ等で容易に検索できる「しまなみ版M a a S」の実現に向けた実証実験を行う。

2 事業内容

しまなみ版M a a S実現に向けた実証実験

しまなみ沿線の公共交通機関の時刻や接続状況などの実地調査・情報集約のほか、シェアサイクルとの組み合わせ（自転車の積載可否や乗り捨て利用による周遊等）を網羅的に整理した令和3年度の実績を踏まえ、エリア内移動での利便性向上につながる経路・接続情報の検索システム（WEBアプリ活用など）等を整備し、実証実験に取り組む。

また、実証実験では、一般旅行者に利用してもらい、アンケート調査を実施するなど、利用者の意見を反映した実用化はもとより、機能追加を含めたアプリ等の更なる改善につなげるための効果測定等も必要に応じて行うほか、次年度以降民間ベースで、管理運営を行える体制を整えることを目指す。

アプリ仕様（想定）

- ・時刻、接続情報の集約や経路検索などができるもの。
- ・交通結節点を結ぶシェアサイクリングを活用できるもの。
- ・周遊を促す仕掛けづくり（乗り放題パスなど）についても検討を進める。
- ・ユーザー目線でわかりやすい設計とする。
- ・インバウンド対応を視野に入れ、多言語化を行う。（日本語・英語）
- ・WEBアプリを基本として検討を進める。

3 今後の推進方法について

各事業者様と個別協議をさせていただき、情報の集約等の作業についてご協力をいただく。（現在協議中）

【主な依頼想定内容】

- ・時刻表や路線情報、会社情報集約に伴う情報掲載許可
- ・電子チケットなどの実現に向けた運用スキーム等の協議